

江戸川学園おおたかの森専門学校

学校関係者評価委員会議事録

(令和元年度)

2021年1月

学校法人江戸川学園

江戸川学園おおたかの森専門学校

## 1. 学校関係者評価委員会開催概要

開催日時	2021年1月30日(土) 午後1時30分～午後3時00分	
開催場所	江戸川学園おおたかの森専門学校 F102 会議室	
参加者(敬称略)	江戸川学園おおたかの森専門学校後援会会長 江戸川学園おおたかの森専門学校同窓会会長 駒木自治会会長 社会福祉法人修央会 船橋笑寿会 相談室長	川崎 一也 皆川 博行 渡邊 治 平尾 悟
欠席者(敬称略)	学校法人江戸川学園江戸川大学教授	神田 洋
学校側参加者(オブザーバー)	江戸川学園おおたかの森専門学校 校長 " 副校長 " 副校長 " 副校長	広岡 勲 原 頼信 杉野 聖子 奥山 武浩

## 2. 議事内容

学校関係者評価委員会の趣旨及び議事進行について	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸川学園おおたかの森専門学校副校長 奥山武浩(以下 奥山副校長)より議事内容・進行について説明があった。</li> <li>本委員会開催に関し、「学校評価に関する関連法令」及び本委員会の開催主旨、評価結果の開示状況などについて説明がなされた。</li> <li>議題は以下の2つになる。             <ol style="list-style-type: none"> <li>令和元年度(2019年度)の事業計画及び進捗について</li> <li>令和元年度自己評価結果の説明および審議</li> </ol> </li> <li>議事内容・進行については、「学校自己評価報告書(令和元年度)」(各評価項目)に基づいて審議し、評価を行うこととした。</li> </ul>
委員会の成立及び議長選出	<ul style="list-style-type: none"> <li>本日の参加者及び欠席者を確認(委員5名のうち4名出席)し、定足数(委員の過半数)に達していることを確認。</li> <li>委員の互選により川崎一也氏を議長(委員長)として選出。</li> </ul>

### (1)平成30年度・2019年度の事業計画及び進捗について

<p>江戸川学園おおたかの森専門学校校長(以下 校長)および江戸川学園おおたかの森専門学校副校長 原頼信(以下 原副校長)より平成30年度・2019年度の事業計画及び進捗について説明があった。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>校名改称・学科名称の改称 おおたかの森という地域を中心とした学校であることを明確に出した。福祉の総合的専門学校というポリシーは変えずに、「福祉のプロになる」というスローガンで運用している。学校名は1年で浸透したと考えている。</li> <li>教職員組織の改編 国際交流センターを設置した。平成29年9月の介護ビザ発行以来増加している留学生を本校でも受け入れている。平成30年度から介護福祉学科へ4名入学し、今春卒業予定。</li> <li>新設学科の設置準備 福祉分野でもスポーツが必須であること、近隣に同学科が存在しないことから、スポーツトレーナー学科を新設した。</li> <li>本格的な留学生受け入れ体制の整備 国際交流センター設置、カウンセラー・日本語教員の採用を行った。千葉県留学生受入プログラムへ参</li> </ol>
--

画。留学生受入数は平成 30 年度 4 名、2019 年度 25 名、2020 年度は 35 名程度(予定)。

#### 5. 学園の施設等の整備

第 1 期工事が終了。現在、正門を中心に第 2 期工事中、2020 年 5 月末完成予定。その他、介護支援ロボット導入、最新鋭介護浴槽設置、専門棟正面改修・看板設置を行った。

#### 6. 本学全体の学生募集に関して

##### 最近 5 か年の学生数

年度	2016	2017	2018	2019	2020
学生数	368 名	305 名	277 名	292 名	350 名

来年度の学生数は 2016 年程度まで回復予定。入学者数も 200 名程度まで回復を目指している。

- ・議長(委員長)より 2020 年度入学予定の留学生 35 名の出身国、また応募数について質問があった。
- ・原副校長より千葉県留学生受入プログラム利用者は全員ベトナム人となる。再来年入学予定の 30 名がこれに該当する。本年度入学者(25 名)の内訳はベトナム 9 名、ネパール 6 名、スリランカ 4 名、フィリピン 5 名、韓国 1 名、来年度入学者(35 名)の内訳はベトナム 15 名、ネパール 12 名、中国 3 名、スリランカ 3 名、インドネシア 1 名、ミャンマー 1 名となっている。AO エントリー応募数は入学者数より 5~10 名ほど多い。オープンキャンパス来校者を含めると入学者数の倍ほどの希望者が来ると説明があった。
- ・社会福祉法人修央会船橋笑寿会相談室長の平尾悟氏(以下 平尾氏)より留学生に対する反応はどうかと質問があった。
- ・原副校長より、まず留学生の実習先として施設に受け入れてもらう。施設職員からは肯定的な反応がほとんどで留学生への支援策を提供してくれる施設も多数ある。2020 年度入学予定の 35 名中 25 名はサポートしていただける施設が決まっていると説明があった。
- ・校長より留学生は日本語能力を含めた質や身元保証を考慮して獲得しているとの認識が示された。
- ・江戸川学園おおたかの森専門学校同窓会会長の皆川博行氏(以下 皆川氏)より専門職大学や専門職短期大学開設の予定はあるのかと質問があった。
- ・校長より総合福祉の領域での専門職短期大学は現時点では難しいとの見解が示された。

(2)平成 30 年度自己評価結果の説明および審議

1. 学校の教育目標

2. 本年度中に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

	<p>・議長(委員長)より「学校自己評価報告書」内容(目次・各評価項目等)の説明が求められ、奥山副校長より「1. 学校の教育目標」、「2. 本年度中に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画」に関しては「平成 30 年度・2019 年度の事業計画及び進捗について」において報告した旨が伝えられた。加えて、2-3②に関して本年度は「介護マネジメント学科」の開設を見送ったと報告があった。</p>
--	--

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1)教育理念・目標	<p>・議長(委員長)より、(1)の項目についての説明が求められた。</p> <p>・奥山副校長より(1)の項目について評価項目「学校の理念・目的・育成人材像は定められているか」に関して、専門分野の特性が明確になっていない部分があるため評価を昨年度の4から3に変更した。2019 年度にディプロマポリシー、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシーを明確にしたと報告がなされた。</p>
(2)学校運営	<p>・議長(委員長)より、(2)の項目についての説明が求められた。</p> <p>・奥山副校長より、(2)の項目について昨年度から大きな変更はないと説明がなされた。</p>
(3)教育活動	<p>・議長(委員長)より、(3)の項目についての説明が求められた。</p> <p>・奥山副校長より、(3)の項目について昨年度から大きな変更はないと説明がなされた。</p> <p>・皆川氏より、評価項目「授業評価の実施・評価体制はあるか」に関して、学生からのアンケート結果でどのような回答があるのかと質問があった。</p> <p>・鎌田副校長より、授業の進行・内容や学生の態度への意見、講師への感謝、評価などが見られると説明があった。</p> <p>・議長(委員長)より、評価項目「関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられている」に関して、インターンシップは必修なのかと質問があった。</p> <p>・原副校長より、実習(インターンシップ)はカリキュラムに組み込まれ必修となると説明があった。</p> <p>・鎌田副校長より、その他、施設へのボランティア等に参加する学生もいると説明があった。</p>
(4)学修成果	<p>・議長(委員長)より、(4)の項目についての説明が求められた。</p> <p>・奥山副校長より、(4)の項目について、評価項目「資格取得率の向上が図られているか」に関して、昨年度より介護福祉学科において国家資格の取得要件が変わり国家試験受験が必須となったため達成状況の記述に昨年度から変更を加えた。評価項目「卒業生・在学生の社会的な活動及び評価を把握しているか」に関して、平成 30 年度よりボランティアカードを導入したため達成状況の記述を変更した。評価の変更はないと報告があった。</p> <p>・皆川氏より、評価項目「卒業生・在学生の社会的な活動及び評価を把握しているか」に関して、同窓会では名簿管理の委託先を変更し、システム構築中。完成すれば卒業生自身で WEB から入力可能となり、卒業生の現状把握が改善すると報告があった。</p>

<p>(5)学生支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議長(委員長)より、(5)の項目についての説明が求められた。</li> <li>・奥山副校長より、(5)の項目について、評価項目「保護者と適切に連携しているか」に関して、保護者へ学校全体としての対応指針、保護者会の実施がない等から昨年度の4から3に評価を変更した。評価項目「卒業生への支援体制はあるか」に関して、昨年度の本委員会で質問のあった、卒業生の学生相談室利用について調査の結果達成状況に「臨機にはあるが」と表現を変更したと報告があった。</li> <li>・平尾氏より、評価項目「卒業生への支援体制はあるか」に関して本年度船橋笑寿会入社の本校卒業生が卒業後も先生に相談にしているという話があり、支援体制は機能している印象を受けたと意見がなされた。</li> <li>・議長(委員長)より、子育て後に保育士に再就職する卒業生も学校を活用できるのではないかと提案がなされた。</li> </ul>
<p>(6)教育環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議長(委員長)より、(6)の項目についての説明が求められた。</li> <li>・奥山副校長より、(6)の項目について、評価項目「施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか」に関して、パソコン室、更衣室、トレーニングルーム、ダンススタジオの記述を追加した。評価項目「学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか」に関して、実習と必修以外のインターンの情報が整っていないため評価を昨年度の4から3に変更したと報告がなされた。</li> <li>・議長(委員長)より、国や自治体からの補助金は十分なのかと質問があった。</li> <li>・原副校長より専門学校への補助金(経常費補助)は大学と異なり非常に少ないと説明がなされた。</li> <li>・学校法人江戸川学園江戸川大学教授神田洋氏より、学生・教員からのインターネット環境への要望について質問がなされた。</li> <li>・原副校長より専門学校では大学と違いパソコンの配布はない。パソコン室を空き時間に開放していると説明があった。</li> </ul>
<p>(7)学生の受入れ募集</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議長(委員長)より、(7)の項目についての説明が求められた。</li> <li>・奥山副校長より、(7)の項目について、評価項目「学生募集活動は、適正に行われているか」に関して、留学生に対する募集活動に関する記述を追加したと報告がなされた。</li> <li>・議長(委員長)より、評価項目「学生募集活動は、適正に行われているか」に関して、平成30年度より導入された指定校入試について質問がなされた。</li> <li>・原副校長より、専門学校から近隣の学校(30～50校)へ学校主体の募集をしてもらい学校推薦として受験する募集方法を追加した。昨年度は26名、本年度49名の募集があったと説明があった。</li> <li>・校長より学校から学生に配布される推薦リストに掲載されるようになることにより推薦入試の認知度が上がったのではないかと説明があった。</li> </ul>
<p>(8)財務</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議長(委員長)より、(8)の項目についての説明が求められた。</li> <li>・奥山副校長より、(8)の項目について、学校法人の法人本部が受け持っている分野となり、おおむね達成できていると説明がなされた。</li> <li>・原副校長より、学園全体の財務は江戸川学園事業報告書に掲載されている。大学は募集が定員を大幅に超え、小学校も5年生まで埋まり年間収支が改善し、学園全体では黒字の収支が続いていると説明がなされた。</li> </ul>

(9)法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議長(委員長)より、(9)の項目についての説明が求められた。</li> <li>・奥山副校長より、(9)の項目について、昨年度から大きな変更はなく、第三者評価の実施を今後の課題として認識していると説明がなされた。</li> </ul>
(10)社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議長(委員長)より、(10)の項目についての説明が求められた。</li> <li>・奥山副校長より、(10)の項目についての昨年度から大きな変更はないと説明がなされた。</li> </ul>
(11)国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議長(委員長)より、(11)の項目についての説明が求められた。</li> <li>・奥山副校長より、(11)の項目についての説明がなされると共に、評価項目「留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか」に関して、昨年度は具体的な体制が確立していなかったが、平成 30 年度より日本語教員、国際交流センターの設置等の体制が整ったので評価を 2 から 3 に変更した。評価項目「学修成果が国内外で評価される取組をおこなっているか」に関して、平成 30 年度時点で留学生が国家試験未受験なことから評価を 2 としたと報告がなされた。</li> </ul>
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議長(委員長)より、すべての項目について審議(評価)は終了したが全体を通して何か意見・質問等があるか確認がなされた。</li> <li>・議長(委員長)より、流山市でも介護施設は増え続けているが介護士のなり手がいない状況が続いている。原因の一つは職員の給与が低いためだといわれている。今後の動向についてどう考えているかと質問がなされた。</li> <li>・校長より、給与の問題は国が予算を組まなければ解決しない問題と考えていると説明がなされた。</li> </ul>